



第87号

発行者
一般財団法人
須坂市身体障害者福祉協会
〒382-0076
須坂市馬場町1218
(須坂市福祉会館内)
☎(026)248-8887

年頭のごあいさつ

須坂市長 三木正夫



皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を、お喜び申し上げます。

皆様方の日頃からのたゆまぬご努力により、ご不自由を克服されるところにも、須坂市の発展と社会福祉向上のためにご貢献とご活躍を賜っておりますことに心より敬意と感謝を申し上げます。

また、平成二十二年三月より理事長をお務めになられた飯川憲一さんが一月に急逝されました。

永年に亘る障がい者福祉向上のためのご功績に対し、喪心より感謝と敬意を表します。

さて、貴協会におかれましては、スポーツ大会開催事業及び身体障害者機能訓練事業を受諾され、障害者マレットゴルフ大会、障害者卓球大会、各種機能訓練事

業を運営いただき、障がい者の社会参加、健康増進、スポーツの向上や機能回復に大きく貢献されてこられました。

須坂市としましては障がい者の皆さんの社会参加活動を促進するため、手話通訳者派遣事業、要約筆記奉仕員派遣事業や各種事業を実施するほか、障がいのある子ども、ない子どもも「地域の子供は地域で育てる」と言う理念の実現に向けて、県内の市町村では初となる「須坂市立須坂支援学校」を、平成二十五年四月には、同校

中学校を開設し、今後、特別支援学校高等部の開校に向けて努力しております。

平成二十七年度は、地域で安心して暮らせる社会づくりを目指し、必要な障害福祉サービスや地域生活支援事業を計画的に提供するため、そのサービス提供体制の整備等について策定した、第四期須坂市障害福祉計画実施の初年度

に成ります。

今後とも、皆様との「共創」「協働」の理念で、引き続き福祉施策の推進に努力し、障がい者が、住み慣れた街で安心して生活できるような福祉のまちづくりを進めてまいります。

年頭にあたり、須坂市身体障害者福祉協会の益々のご発展と、会員の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

三木正夫

新年のごあいさつ

須坂市社会福祉協議会会長 植木新一



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から須坂市社会福祉協議会にお寄せいただきありがとうございます。ご理解と、ご支援、ご協力に

対し厚くお礼申し上げます。

昨年、豪雪による被害や豪雨による広島や南木曾の土石流災害、御嶽山の噴火、神城断層地震など多くの災害が日本列島を襲いました。

そのような中、本会では、多くの被災地の一日も早い復興を願う、東北や白馬村への災害復興支援などを行いました。

また、本会では、ショートステイ併設の地域密着型特別養護老人ホームを開所しました。

本会では、初めてとなる泊りの施設ですが、入居された皆様は、自宅にいるような雰囲気のおかげで安心して過ごしていただけたよう努めております。

その他、須坂市からの受託事業として、「結婚相談所」の開設も行いました。

これは、少子高齢化により、人口減少時代が進むなか、人口増対策の一環であると同時に地域の活性化につながる重要な事業としてとらえ、今後も継続して取り組んでまいりたいと思っております。

さらに本年四月から本格実施となる、生活困窮者自立支援法のモデル事業として昨年、「まいさぼ長野」が発足し、本会から職員を派遣し、自立支援に向けた相談事業を展開しております。そして今後、須坂市からの受託事業として、生活困窮者の皆様の支えとなるよう努力して参ります。

また、今年には介護保険制度の改正が予定されており、本会にとってもそれに対応した事業展開が求められてくると思っております。

安定した介護保険制度の維持と

この会報は、共同募金の助成で発行しています。

いう趣旨のもと、市民の皆様や社協利用者の皆様とも連携を図っていききたいと考えております。

また、本会の使命である、地域福祉の推進として、「助け合い、支え合う」ぬくもりのある暖かいまちづくりに関後も努めてまいります。

年頭にあたり、須坂市身体障害者

計報 追悼の辞と決意

副理事長 山岸 厚

新年明けまして・・・と飯川理事長の挨拶で始まるはずでしたこの欄に副理事長の私が挨拶を寄せるとは思いませんでした。

「来年もよろしくな」を最後に理事長は大きな功績を残して旅立ちました、「定款」により任期内は業務執行理事として代理を務めます。

託された者として残りの任期を無事に遂行する事が供養と肝に銘じて取り組んでまいります。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

新年度に向け当面の課題として、今年には評議員を除く役員改選の年です。各支部長の下、役員を選出にご協力願います。

特に理事の就任は登記が伴うため、速やかな選出をお願いいたします。年間の事業計画を建てます

者福祉協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

(編集部より この原稿は昨年中に頂きました物を掲載いたしました。植木様からは故飯川理事長に心温まる哀弔のお言葉を掛けて頂いております。)

が皆様からのご意見もお寄せください。参考になさる。

いただいただけの挨拶に成りましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

長野県障がい者文化芸術祭で奨励賞を受賞

九月二十・二十一日の両日に開催された「第十七回 長野県障がい者文化芸術祭」に於いて当協会員の吉沢香代子さんが絵画の部で奨励賞を受賞されました。

吉沢さんは絵画班に所属されており今後も活躍が期待されています。



長野県障がい者スポーツ大会



九月十四日、快晴に恵まれた松本市広域運動公園で長野県障がい者スポーツ大会が開催されました。

第14回 電動スラローム

- 黒岩 恒治 三位
- 中村 弘 デイスタンス 二位
- アキユラシー 五位
- 丸山美智代 デイスタンス 五位
- アキユラシー 四位

- 西沢 盛男 三位
- ◇ジャベリングスロー

- ◇卓球
- 白石東海男 一位
- 三田裕斗 五位
- 木村俊彦 一位
- 根津雅英 二位
- 岡部のり子 二位

- 中川 愛 二位
- 中島拓哉 一位
- 駒津 剛 一位
- 小渕智史 二位
- 丸山京子 一位

競技の成績は障害別の順位です。

北信ブロック交流会 フライングディスク大会開催

十月十九日(日)中野市でフライングディスク競技に出席しました。晴天で清々しい日でした。

九時半開会式で、終わり次第練習に入りました。皆様は上手でした。私は初めてでなかなかうまく出来なくて困りましたが二回目はまあまあ出来てとても嬉しかったです。

個人競技が終わり、十時四十分より団体競技に入りました。二組ずつ競技することになり、須坂市は中野市の人たちと競技することになり、お陰様で須坂市が勝ち、まあ良かったと胸をなでおろしました。

八協会ありましてその中で須坂市が優勝し、須坂市は三位になりました。

このスポーツは楽しいなーと思えました。お互いに協会へ出来るだけ協力致しますよう。(神林)



研修旅行

毎年恒例となりました。研修旅行が、昨年の十月二十四日(金)に、総勢三十八名の参加者で実施されました。

今回の旅は「安曇野と大町温泉の旅」で、メセナホール駐車場を、七時三十分立ち、須坂インターから一路目的地に向かいました。途中姨捨サービエリアにて休憩を取り、大王わさび農場では、新鮮なわさびを、お土産にと買い求めていらっしやいました。

私もこの場所は二度目ですが、改めて農場の広さ、スケールの大きさに感心を致しました。

又安曇野ちひろ美術館には、すぐ近く迄何回か来ておりましたが、今回初めて見学をさせていただきました。大変勉強になり有難うございました。



バスは、ちひろ美術館を後にし、大町温泉郷「ホテル景水」へ到着、早速大広間にて、大変美味しい料理を前にして全員でカンパイ！お酒の追加又追加で大変盛り上がり、昼食を取

りながらの懇談による交流を通して楽しいひと時を過ごすことができました。

そしてバスは帰路に、途中「道の駅中条」にて休憩、又お土産を買い須坂へと無事帰って参りました。

大変楽しい一日を過ごさせていただきました。有難うございました。(丸田)

須高地区三協合同健康教室 開催

十二月十三日(土) 小布施町、高山村、須坂市の三協合同の健康教室が須坂駅前シルキービル三階ホールで開催されました。

突然の国政選挙で予定していた福祉会館の会場から場所と時間を変更しての開催でしたが四十余名に参加していただきました。

講師には須坂病院副院長で麻酔科医師の清水先生に「痛みについて」と題し、痛みが教える大切なこと、痛みの伝わり方、もし痛みを感じなかったら怖さ、等をプロジェクターを使い説明され、手術や怪我等に使う痛み止め薬の種類や処方、等に付いて講演をして頂き、講演後は質問にも答えて頂きました。

第二十二回

須坂市身体障害者マレットゴルフ大会

去る十月二十日恒例の須坂市身

体障害者マレットゴルフ大会が午後一時から百々川マレットゴルフ場で行われた。開会に先立ち飯川理事長の挨拶、市健康福祉部の樽井部長の祝辞と大会関係者の紹介の後競技に入り、小雨の中競技は無事終了した。



今年初参加一名を加え十六名で熱戦を繰り広げた。成績は、次の通りです。

☆男子

- 一位 藤沢 久
- 二位 谷内嘉明
- 三位 渡辺元一

☆女子

- 一位 金田 英
- 二位 岸田節子
- 三位 本田春子

ふれあい広場に参加して

婦人部

「いらつしやいませ」「いらつしやい」「その服ステキ」「奥様に似合いますよ」「こちらの服もいいですね」「お客さん、これ安いですよ！」

「お店に行けばこんな値段じゃ変えないよ」「お菓子ですか？二ヶ・ニヶ？」と上手に売る人、「ありがとう御座いました」「ありがとね！」あちこちで会話が聞こえてきます。

身障協会のバザーは良い品物を安く売る店として毎年大勢の人達

が準備中でも来店して下さいます。私たちが慌てて対応する始末です。隣の店の人もおたくの店は一番賑やかだねと羨ましそうに見ていました。

会員さん一人ひとりの協力により沢山の品物が集まりました。洋服・アクセサリー・食器類・ラーメン・菓子、と物資を提供してくれる人、準備をしてくれる人、上手に売ってくれる人と、皆さんの協力が有ってこそバザーが成功するんだと思えました。感謝しておりました。有難う御座いました。これからも御協力の程宜しくお願い致します。



第27回 須坂市身体障害者卓球大会

☆大会日時 平成27年3月8日(日)
 ☆会場 須坂市福祉会館(馬場町)
 ☆受付 午前8時30分
 ☆開会式 午前9時15分
 ☆参加費 500円(昼食と参加賞)
 ☆参加資格 須坂市在住・市内勤務の身体障害者、福祉関係職員、ボランティア
 ☆競技 初心者プロックもあり
 ☆申込期日 2月5日(木)～2月26日(木)
 ☆申込及び問合せ先 身障協件事務局(火・木 午前9時～午後5時)
 TEL/FAX 248-8887
 根津雅英(TEL 246-1736)

■主催 須坂市身体障害者福祉協会生きがい事業 卓球班
 ■後援 須坂市福祉事務所/須坂市社会福祉協議会/須坂新聞社

